

ネイティブプロテウス属 L-グルタミン酸脱水素酵素 (NADP)

Cat. No. NATE-0395

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	L-グルタミン酸脱水素酵素は、グルタミン酸を α -ケトグルタル酸に還元する反応を触媒します。
用途	この酵素は、 NH_3 、 α -ケトグルタル酸およびL-グルタミン酸の酵素的測定、ならびにロイシンアミノペプチダーゼおよびウレアーゼのアッセイに有用です。この酵素は、臨床分析においてウレアーゼ (URH-201) と結合して尿素の酵素的測定にも使用されます。
別名	L-グルタミン酸脱水素酵素; EC 1.4.1.4; 9029-11-2; グルタミン酸脱水素酵素; 脱水素酵素; グルタミン酸 (ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (リン酸)) ; グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; NAD (P)-グルタミン酸脱水素酵素; NAD (P)H依存性グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素 (NADP)

製品情報

由来	プロテウス属
形態	緩衝水溶液; 50 mM Tris HCl、pH 7.8、5 mM Na ₂ EDTAを含む0.05%ナトリウムアジ化物の溶液
EC番号	EC 1.4.1.4
CAS登録番号	9029-11-2
分子量	mol wt ~300 kDa
活性	> 400 ユニット/mg タンパク質 (ビウレット)
等電点	4.6
pH安定性	pH 6.0-8.5 (25°C, 20時間)
最適pH	8.5 (α -KG→L-Glu) 9.8 (L-Glu→ α -KG)
熱安定性	50°C未満 (pH 7.4、10分)
最適温度	45°C (α -KG→L-Glu) 45-55°C (L-Glu→ α -KG)
ミカエリス定数	1.1 X 10 ⁻³ M (NH_3)、3.4 X 10 ⁻⁴ M (α -ケトグルタル酸)、1.2 X 10 ⁻³ M (L-グルタミン酸)、1.4 X 10 ⁻⁵ M (NADPH)、1.5 X 10 ⁻⁵ M (NADP ⁺) 構造: 1モルの酵素あたり6つのサブユニット (分子量50 kDa)
阻害剤	Hg ⁺⁺ , Cd ⁺⁺ , p-クロロ水銀ベンゾエート, ピリジン, 4,4'-ジチオピリジン, 2,2'-ジチオピリジン
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 8.3の条件下でアンモニウムイオンとNADPHの存在下で、1分あたり1.0 μ moleの α -ケトグルタル酸をL-グルタミン酸に還元します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C
------	-------